



*The Japanese  
Society of  
Toxicology*

**Vol. 46 No. 3  
June 2021**

# 毒性学ニュース

*Toxicology News*

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

## 毒性学ニュース

### Contents

---

#### 日本毒性学会からのお知らせ

2021 年度年会費の納入のお願い	23
社員総会開催のご案内と出欠票（委任状）提出のお願い	24
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第5報）	25
第24回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験	27
日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書	29
認定試験受験資格のための評点表	31
第48回日本毒性学会学術年会のご案内（第6報）	33
第47回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	36

#### その他のお知らせ

株式会社L S I M安全科学研究所 試験責任者募集	37
----------------------------	----

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

---

## 2021 年度年会費の納入のお願い

日本毒性学会定款第 11 条（会費）に基づき、2021 年度の会費の納入を受け付けております。会費は日本毒性学会の運営・活動の原資となりますので、年会費の納入をお願いいたします。本年 3 月に一斉メールでお知らせいたしましたとおり、一般会員、評議員につきましては年会費が値上げとなっております。

2021 年度より年会費	一般会員： 7,000 円	⇒	9,000 円
	評議員： 10,000 円	⇒	12,000 円
	学生会員： 3,000 円	⇒	変更ありません

評議員および一般・学生会員は会員専用マイページにログインし、会費納入状況のページより年会費のクレジットカード決済を行うことが可能となっております。2020 年度以前の未払いの年会費についても、同様の手続きでクレジットカード決済が可能です。

ログイン URL : <https://area31.smp.ne.jp/area/p/mdkj9lftes8mjct9/g7DahB/login.html>

なお、従来どおり郵便振込による会費納入も可能です。

振込先口座情報もマイページの会費納入状況のページ画面にてご案内いたしておりますので、そちらをご参照ください。

5 月末日までにクレジットカードか郵便振込による会費納入が確認できなかった会員宛には、6 月以降、郵便振込用紙を順次郵送します。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本毒性学会  
 理事長 菅野 純  
 総務委員長 高橋 祐次

## 社員総会開催のご案内と出欠票（委任状）提出のお願い

一般社団法人 日本毒性学会  
社員（一般会員及び学生会員）各位

平素より日本毒性学会の活動、運営にご協力を賜り御礼申し上げます。

定款第4章に定められておりますように「社員総会」を、以下の要領で2021年学術年会期間中に開催いたします。ご承知のとおり、本学会は2014年（平成26年）5月1日に一般社団法人となり、重要な案件は社員総会で決定されます。第48回日本毒性学会学術年会はハイブリッドで開催される運びとなりましたが、社員（一般会員及び学生会員）各位におかれましては、現地またはWebにてご出席賜りますようご案内申し上げます。

また、ご出席・ご欠席に係わらず「出欠票（委任状）」を、マイページの電磁的総会出欠（委任状）回答システムにより事前にご提出下さい。

2021年度 一般社団法人日本毒性学会 社員総会

日 時：2021年7月8日（木）13時30分～14時50分

場 所：第48回日本毒性学会学術年会 第1会場（神戸国際会議場 国際会議場301）

議 案：1. 2020年度事業報告および収支決算  
2. 2021年度事業計画および収支予算  
3. その他

社員総会の決議には、定款第24条に定められておりますように、総社員（一般会員及び学生会員）の議決権の「過半数」を有する社員の出席が必要です。定足数に満たない場合は社員総会として成立しなくなり、重要な議決事項が決定できず、本学会の運営に大きな支障を来すこととなります。社員総会に欠席される場合には、必ず委任状をご提出されますよう、重ねてお願い申し上げます。

また、お近くの会員の方に、社員総会へのご参加または委任状の提出をお勧めくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年6月  
一般社団法人日本毒性学会  
理事長 菅野 純

## 日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第5報）

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒性学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会は、トキシコロジーに関する知識（基礎知識）を幅広く学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとして学習を継続し知識をアップデート・ブラッシュアップする生涯教育講習会を開催しております。いずれの講習も動画配信形式で行います。視聴期間は限定されますが、ご都合に合わせて学習頂くことが可能となっております。

### 「第24回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験」

我が国の安全性試験の信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため、質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については、毒性学ニュース及び学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。日本語・英語いずれかの受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。なお、本年度はコロナウイルス感染症対応策といたしまして、以下のスケジュールで進めさせていただきます。

#### 1. スケジュール

事前申込

- ・2021年6月7日（月）～6月14日（月）  
※定員90名 先着順
- ・2021年7月2日（金）：認定試験の実施/延長の判断
  - 実施する場合  
2021年9月26日（日）：  
認定試験（9：45～17：00 予定）  
予備日10月3日（日）- 台風などの自然災害の場合
  - 延期する場合
- ・2021年9月2日（木）：認定試験の実施/中止の判断
  - 延期して実施する場合  
2021年12月5日（日）：  
認定試験（9：45～17：00 予定）  
予備日12月12日（日）- 台風などの自然災害の場合
  - 中止の場合  
2021年度は認定試験を実施しない。

#### 2. 会場

昭和大学 旗の台キャンパス

#### 3. 受験料

30,000円

### 「認定トキシコロジスト資格の更新」

2001年、2006年、2011年、2016年に認定トキシコロジストに認定された方となります。毒性学ニュース、学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定資格更新に関する細則』をご覧ください。

### 「認定トキシコロジストの試験問題作成依頼について」

資格更新のための試験問題作成の依頼は6月上旬、締め切りは8月中旬を予定しています。なお、可能な限り、2018年5月発刊の「第3版トキシコロジー」からの出題をお願いいたします。その他、詳細につきましては、2021年6月中にご案内いたします。

### 「第24回日本毒性学会基礎教育講習会」

本講習会はトキシコロジストの体系的な基礎教育あるいは再教育を目的としております。トキシコロジー全般にわたる理解を深めたうえで、日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験受験にお役立て下さい。受講者の皆様には4月中旬に資料のダウンロード及び視聴方法をご案内いたします。

#### 1. 日時

2021年4月下旬～認定トキシコロジスト試験前まで

#### 2. 形式

WEB開催

### 「第22回日本毒性学会生涯教育講習会」

本講習会では、学習フレームを、①トピックス、②トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーとして実施しております。本年も同様のフレームで開催を予定しておりますので、是非、積極的なご参加をお待ちしております。

トピックスは、SOTの学術年会時に開催される教育コースから、2つのテーマを選び、新しい科学及び技術に関する最新のトピックスを学習する場とし

ていきます。トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーでは、各種毒性反応について基礎メカニズムから社会的に最新の毒性学の話題を含め深く学習する場としていきます。また、学習テーマに関連する共通知識として「非病理学者のための病理学講義」をセミナーに組み入れていきます。講習会資料はダウンロード形式としております。受講者の皆様には6月中旬に資料のダウンロード方法及び視聴方法をご案内いたします。

#### 1. 視聴期間

7月7日（水）～7月16日（金）

#### 2. 形式

WEB 開催

#### 3. プログラム

##### 1) SOT2021 報告：

田邊 思帆里 先生（国立医薬品食品衛生研究所）  
「Guidelines for Developing and Implementing Organ-on-a-Chip/Microphysiological Systems for Toxicity Evaluation of Drug Candidates in Drug Development」

吉川 理恵 先生  
（Novartis Institutes for BioMedical Research）  
「Navigating New Modalities: A Preclinical Roadmap for Developing Novel Oligonucleotide Safety Strategy」

##### 2) トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー： “感染・免疫機能”

真木 一茂 先生  
（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）  
「ワクチン安全性評価の基礎と課題（仮）」

高橋 享子 先生（武庫川女子大学）  
「食物アレルギーの解説（種類・メカニズム・検査法・臨床・治療）（仮）」

小池 英子 先生  
（国立研究開発法人 国立環境研究所）  
「環境（仮）」

今岡 尚子 先生（第一三共株式会社）  
「非病理学者のための病理学講義－免疫系の構造と毒性変化（仮）」

#### 4. 参加費

会 員	5,000 円
非会員	7,000 円
認定トキシコロジスト	3,000 円

#### 5. 申込期間

2021年3月12日（金）～6月11日（金）

## 第 24 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験

日本毒性学会

教育委員会委員長

鈴木 睦

認定試験小委員会委員長

福島 民雄

下記の要領で認定試験を実施いたします。

受験希望者は毒性学ニュースまたは学会ホームページに掲載の「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」を熟読の上、出願して下さい。

出願時に提出された書類に基づく書類審査で上記規程に記載されている一定の基準に達しない場合は、認定試験を受けることができませんので出願に際してはこの点に十分に気をつけて下さい。

書類審査で受験資格が認められた場合、試験日の10日前までに受験票をご本人宛送付いたします。試験当日は必ず受験票を持参して下さい。

日本語・英語のいずれか言語での受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

### 1. 日 時

2021年 9月 26日 (日) (9:45 ~ 17:00 予定)  
予備日 10月 3日 (日)

延期した場合

2021年 12月 5日 (日)  
予備日 12月 12日 (日)

### 2. 会 場

昭和大学 旗の台キャンパス 2号館 (予定)  
(東京都品川区旗の台 1-5-8)  
\* 東急池上線・大井町線  
旗の台駅東口下車 徒歩 5分

### 3. 出願期間

事前申込  
2021年 6月 7日 (月) 12時 ~ 6月 14日 (月)  
※定員 90名 (先着順)

本募集

2021年 7月 16日 (金) ~ 8月 17日 (火)

延期した場合

2021年 9月 6日 (月) ~ 10月 15日 (金) (必着)

### 4. 出願書類

1) 願書と受験者確認票

2) 写真 2枚 (縦 3.5cm × 横 3cm)

※ 6ヶ月以内のもの

(願書と受験者確認票の所定欄に貼付)

3) 認定試験受験資格のための評点表および証明資料

出願時には次のことにご注意下さい。

- ・ 会員歴：出願時に JSOT の会員であること
- ・ 研究歴

詳細は「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」をご覧ください。出願書類は記録の残るもの(書留、信書便等)でお送り下さい。

### 5. 受験料

30,000 円 (下記の郵便振替口座にお振込の上、払込票のコピーを出願書類に同封下さい)

郵便振替口座番号：00150-9-426831

加入者名：一般社団法人日本毒性学会

※ 領収書につきましては、振込時の振替払込請求書兼受領証にかえさせていただきます。

(通信欄に会員番号を明記下さい)

※ 出願が受理されますと、受験料は認定試験を受験しなくても返還できませんので、ご注意ください。

### 6. 出願書類送付先・問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局

認定試験小委員会

〒 100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル (株) 毎日学術フォーラム内

TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555

E-mail: jsotq@jsot.jp

切 り 取 り 線

## 第 24 回日本毒性学会 認定トキシコロジスト認定試験受験者確認票

写真貼付欄

※ 6ヶ月以内のもの

受験番号

氏 名

(氏名をご記入下さい)

日本語受験 英語受験 (希望する方に✓を入れてください)

# Application Form Guidance Notes about the 24<sup>th</sup> Certification Examination for Diplomate of the JSOT

The Japanese Society of Toxicology (JSOT)

Chair of Education Committee: **Mutsumi Suzuki**

Chair of Certification Examination Subcommittee: **Tamio Fukushima**

We would like to inform you that the 24<sup>th</sup> certification examination for the diplomate of the JSOT will be conducted in the following manner: Applicants are requested to submit application documents after careful reading of "Regulations on the Certification Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT)" presented in Toxicology News or on the homepage of the society.

If you do not reach the prescribed level at the screening of application documents shown in the above regulations, you cannot take the certification examination. Therefore, please take a great care for applying.

When you are qualified for the certification examination, we will send you an admission ticket no later than 10 days prior to the examination. You must bring the admission ticket to the examination.

You can take the certification examination in English from this time. If you want to do so, please check the box of requesting the examination in English in the application form. The 24<sup>th</sup> Certification Examination is going to be conducted according to the following schedule to minimize the risk of current pandemic.

## 1. Schedule

July 2, 2021 (Friday): Judgment on conducting or postponing the examination

If July 2<sup>nd</sup> decision was made to postpone the examination, judgment on conducting the 2021 examination with postponed schedule or cancelling will be made on September 2, 2021 (Thursday): If the examination is going to be cancelled, there will be no examination in the year 2021.

Scheduled examination date:

September 26, 2021 (Sunday), 9:45 to 17:00  
Spare date: October 3, 2021 (Sunday).

Postponed examination date:

December 5, 2021 (Sunday), 9:45 to 17:00  
Spare date: December 12, 2021 (Sunday).

## 2. Venue of the examination

Building 2, Hatanodai Campus of Showa University  
(1-5-8 Hatanodai, Shinagawa-ku, Tokyo)

\*Take Tokyu Ikegami Line or Oimachi Line, then get off at East Exit of Hatanodai Station and walk for 5 minutes.

## 3. Application period

If held on the initial scheduled date (September 26<sup>th</sup>, 2021):

Open from July 3 (Monday), no later than August 17 (Friday), 2021

If held on postponed schedule date (December 5, 2021):

Open from September 6 (Monday), no later than October 15 (Friday), 2021

## 4. Application documents

1) The application form and the examinee's identification form (found in the bottom of this document)

2) 2 face photos\* (3.5 cm height × 3 cm width)

(Should be attached to the appropriate spaces of the application form and the examinee's identification form.) \*Within 6 months

3) The score sheet of eligibility for admission to the certification examination form and supporting documents for eligibility scoring  
Please make sure the following prerequisites for the examination application:

- Member history: applicants must be JSOT members at the time of application

- Length of research experiences in the related field

Detailed information is provided in the Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT). You are expected to send application documents by a method that are trackable and signature-required (e.g., registered mail, confidential correspondence delivery).

## 5. Examination fee

¥30,000

Please remit to the following postal transfer account and enclose a copy of the Payment Slip with the application documents:

Postal Transfer Account No.: 00150-9-426831

Subscriber's name: The Japanese Society of Toxicology

\* Transfer Payment Invoice and Receipt will be used as a receipt of the examination fee.

(Please write Membership No. in the message column of the Payment Slip.)

Examination fee is non-refundable whether you take the examination or not, once application is accepted.

## 6. Mailing and contact information for application submission

Attn: Certification Examination Subcommittee  
Bureau of The Japanese Society of Toxicology

Address:

Mainichi Academic Forum Inc.

Palace Side Building,

1-1-1, Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0003, Japan

Phone: +81-3-6267-4550 Fax: +81-3-6267-4555

E-mail: jsotq@jsot.jp

C u t o f f l i n e

## Examinee's Identification Form for the 24<sup>th</sup> Certification Examination for Diplomate of the JSOT

Please paste your  
recent face photo  
within 6 months

Examinee's No. \_\_\_\_\_

Name \_\_\_\_\_

(Please fill-in your name)

Examination in:  English  Japanese

(Please check the language in which you want to take the exam)



## 日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書

年 月 日提出

ふりがな  
氏名：

会員番号：

生年月日： 西暦 年 月 日 ( 歳)

所属機関：

職名：

学歴：

高等学校卒業    短期大学等卒業    4年制大学等卒業    6年制大学等卒業

(該当する□にチェック)

写真貼付欄  
※6ヶ月以内に  
撮影したもの

卒 業 年	学 校 名 お よ び 学 部 学 科 等
西 暦 年 月	
西 暦 年 月	
西 暦 年 月	
卒業後 年 カ月	

注：大学院を含まない

毒性学関連の職歴および大学院等における毒性学関連の研究期間：

期 間 (西 暦)	年 数	職 歴 (企業名), 大学院等
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
通算 年 カ月	注：修学期間、就業期間および研究実績期間の重複は多重に計上しない	

\*受験する言語の選択：  日本語版     英語版

\*受験票送付先：  所属機関     自宅

〒

住 所：

電 話：

FAX：

E-mail：

(お持ちの方は必ずご記入下さい)

\*緊急連絡先：

## Diplomate of the JSOT Certifying Examination Application Form

Submission date:     /     /     (MM/DD/YYYY)

Name: \_\_\_\_\_

Membership No.: \_\_\_\_\_

Date of birth:             /     /     (MM/DD/YYYY) (     years old)

Affiliated institution: \_\_\_\_\_

Job title: \_\_\_\_\_

Please attach your  
recent face photo  
within 6 months

Education: Graduated from the following:

(excluding graduate school degrees which should be included in the next section)

High school    Junior college    4-Year university    6-Year university

(Please check the appropriate box.)

Year of graduation	Names of the school, faculty, department, etc.
/     (MM/YYYY)	
/     (MM/YYYY)	
/     (MM/YYYY)	
year(s) and month(s) after graduation	

Toxicology-related work histories and research experiences at graduate schools:

Period	Duration	Research experience (e.g., Company, graduate school)
/     (MM/YYYY) to /     (MM/YYYY)	year(s) and   month(s)	
/     (MM/YYYY) to /     (MM/YYYY)	year(s) and   month(s)	
/     (MM/YYYY) to /     (MM/YYYY)	year(s) and   month(s)	
/     (MM/YYYY) to /     (MM/YYYY)	year(s) and   month(s)	
/     (MM/YYYY) to /     (MM/YYYY)	year(s) and   month(s)	
Total *: year(s) and   month(s)	*Note: Please avoid overlap among each period.	

\* Do you want to take the examination in English or Japanese?    English    Japanese

\* Preferred address to send the examination admission slip:    Affiliated institution    Home

Zip code:

Address:

Phone:

Fax:

E-mail:

\* Emergency contact (Name/Phone):

## 認定試験受験資格のための評点表

「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」の付表（脚注に注意）を参考に自己採点の上，下表（評点表）の該当箇所に評点を記入して下さい。

なお，下表中の論文についてはそのコピーを，学会等参加については参加証のコピーを，学会等発表については学会開催年を付記した講演要旨のコピーを，また，講習会については参加証のコピーを，それぞれ証明資料として添付して下さい。

（評点表にも忘れずに氏名と所属機関をご記入下さい）

氏 名：

所属機関：

種 別	評 点 項 目	評 点
論 文	毒性学関連論文 <sup>1),2)</sup>	
学会活動	発表 <sup>1)</sup>	
	JSOT 学術年会	
	参加	
	発表 <sup>1)</sup>	
講習会等	毒性学に関連する学会 <sup>3)</sup> の学術年会	
	参加	
	基礎教育講習会	
	JSOT 主催・公認講習会 <sup>4)</sup>	
合 計		

1) 筆頭著者もしくは責任著者（corresponding author）については10点，それ以外の共同発表の場合は5点とする。

2) レフリー制度が整っている学術誌に限る。

3) IUTOX 定期総会（ICT），ASIATOX 定期総会，SOT 年会，EUROTOX 年会，日本安全性薬理研究会，日本衛生学会，日本環境変異原学会，日本産業衛生学会，日本獣医学会，日本実験動物学会，日本製薬医学会，日本先天異常学会，日本中毒学会，日本毒性病理学会，日本内分泌攪乱化学物質学会，日本免疫毒性学会，日本薬学会，日本薬物動態学会，日本薬理学会，JSOT に設置された部会の学術集会

4) JSOT 生涯教育講習会等

## Score Sheet of Eligibility for Admission to the Certification Examination

Please make sure that your total score is over 80, using following score sheet. Please refer to the appendix of "Regulations on the Certification Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT)", which is also described in the footnotes.

Please attach supporting documents to prove each scoring items: copy of published articles, certificates for academic conference and/or educational course attendance; abstracts for conference presentation (please add presented years of the conferences).

Please do not forget to write your name and affiliated institution below in this sheet.

Name:

Affiliated institution:

Category	Scoring item	Score
Article	Toxicology-related article <sup>1), 2)</sup>	
Academic activity	JSOT annual meeting	Presentation <sup>1)</sup>
		Attendance
	Annual meeting of toxicology-related academic society <sup>3)</sup>	Presentation <sup>1)</sup>
		Attendance
Educational course	JSOT fundamental education course	
	Course/Seminar sponsored or approved by JSOT <sup>4)</sup>	
Total		

1) Ten points awarded for the first author or corresponding author, and 5 points for authors of joint publications.

2) Journals should be limited to those having a peer-review system.

3) IUTOX International Congress of Toxicology (ICT), ASIATOX regular general meeting, SOT annual meeting, EUROTOX annual meeting, Congresses of Japanese Safety Pharmacology Society, The Japanese Society for Hygiene, The Japanese Environmental Mutagen Society, Japan Society for Occupational Health, The Japanese Society of Veterinary Science, Japanese Association for Laboratory Animal Science, The Japanese Association of Pharmaceutical Medicine, The Japanese Teratology Society, Japanese Society for Clinical Toxicology, Japanese Society of Toxicologic Pathology, Japan Society of Endocrine Disruptors Research, The Japanese Society of Immunotoxicology, The Pharmaceutical Society of Japan, The Japanese Society for the Study of Xenobiotics, The Japanese Pharmacological Society, and Scientific meetings organized by JSOT subcommittee

4) E.g., JSOT continuing education course

## 第48回日本毒性学会学術年会のご案内（第6報）

（年会ホームページ：<http://www.jsot2021.jp/>）

### 1. 会期

2021年7月7日（水）～7月9日（金）

この度の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学術年会の開催については慎重に検討させていただきました結果、「ハイブリッド開催」にて学術発表・展示会を実施することいたしました。

皆様には、開催方法変更によりお手数をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

### 2. 会場

神戸国際会議場  
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1  
TEL：078-302-5200  
URL：<https://kobe-cc.jp/ja/facilities/conference-center/>

### 3. テーマ

Beyond the crisis - 生命の存続に貢献する毒性学

### 4. 年会長

福井 英夫（Axcelead Drug Discovery Partners, Inc.）

### 5. 企画委員（敬称略・五十音順）

朝倉 省二（エーザイ（株））  
石塚真由美（北海道大学）  
小川久美子（国立医薬品食品衛生研究所）  
小椋 康光（千葉大学）  
鍛冶 利幸（東京理科大学）  
菅野 純（国立医薬品食品衛生研究所）  
北嶋 聡（国立医薬品食品衛生研究所）  
熊谷 嘉人（筑波大学）  
小林 章男（日本たばこ（株））  
佐藤 雅彦（愛知学院大学）  
篠澤 忠紘（武田薬品工業（株））  
渋谷 淳（東京農工大学）  
杉山 圭一（国立医薬品食品衛生研究所）  
鈴木 睦（協和キリン（株））  
角 大悟（徳島文理大学）  
高橋 祐次（国立医薬品食品衛生研究所）  
角崎 英志（（株）新日本科学）  
直田みさき（医薬品医療機器総合機構）  
栗形麻樹子（国立医薬品食品衛生研究所）  
広瀬 明彦（国立医薬品食品衛生研究所）  
堀井 郁夫（ファイザー）  
真木 一茂（医薬品医療機器総合機構）  
松本 清（武田薬品工業（株））  
三島 雅之（中外製薬（株））  
宮脇 出（大日本住友製薬（株））

森 和彦（第一三共（株））  
山田 久陽（大正製薬（株））  
吉岡 靖雄（大阪大学）  
吉成 浩一（静岡県立大学）

### 6. 特別企画（予定、敬称略、仮題含む）

- 1) 第18回市民公開セミナー  
日時：2021年7月10日（土）14：00～15：30  
会場：神戸芸術センター  
(1) 「高齢者の目の病気」  
西田 幸二（大阪大学）  
(2) 「最近増えてきた胃腸のアレルギー病」  
木下 芳一（姫路循環器病センター）
- 2) 年会長招待講演  
「iPSを用いた角膜移植」  
西田 幸二（大阪大学）
- 3) 特別講演  
(1) “Risks and Benefits of Vaccine or Nonvaccine Therapeutic Interventions for COVID-19”  
Kenneth L Hastings  
(Hastings Toxicology Consulting LLC, USA, 元 US FDA)  
(2) 「睡眠覚醒の謎に挑む」  
柳沢 正史  
(筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIRS）)  
(3) “Development Challenges for Carcinogenicity Risk Assessments of Topical Drugs”  
Brett D Hollingshead  
(Pfizer Drug Safety Research and Development, USA)
- 4) 教育講演  
(1) 「炎症毒性のない免疫増強剤（アジュバント）：安全性の高いワクチン開発へ向けて」  
瀬谷 司  
(青森大学ねぶた健康研究所、北海道大学医学研究院)  
(2) “Streamlined Development Approach to Evaluating Severely debilitating or life-threatening indications (SDLTs) Therapeutics and Vaccines”  
Judith Prescott (Merck & Co., Inc., USA)  
“The Coming Conquest of COVID”  
Robert W. Amler (New York Medical College, USA)  
(3) 「オルガノイド医療の可能性」  
武部 貴則  
(東京医科歯科大学統合研究機構)

- (4) 「Patient Centricity - 製薬会社における毒性学の重要性」  
眞鍋 淳 (第一三共 (株))
- (5) “The US FDA’s Coronavirus Treatment Acceleration Program (CTAP) and Considerations for Pre-IND Meeting Requests”  
“Integrated Review Process within the Office of New Drugs”  
Stephanie Leuenroth-Quinn (US FDA)
- (6) 「亜鉛イオン神経毒性の制御による進行性神経変性疾患の新規防御戦略」  
武田 厚司  
(静岡県立大学薬学部統合生理学分野)
- (7) 「新型コロナウイルスの変異・免疫・ワクチン」  
児玉 龍彦  
(東京大学先端科学技術研究センター)
- (8) “Computational toxicology and the regulatory environment - past, present, and future”  
David R Woolley (ForthTox Limited, UK)
- 5) シンポジウム (29 セッション)
- (1) 基礎発生学と先天異常学から学ぶ毒性エピジェネティクス 2.0
- (2) 日本実験動物学会合同シンポジウム：毒性研究におけるヒト化動物の利用
- (3) 遺伝毒性リスク評価の新たな胎動 - ゲノム不安定リスク研究の夜明け -
- (4) 毒性機序の理解とリスク評価へ向けた化学物質センサー転写因子研究
- (5) パンデミック感染症に対する医薬品の非臨床安全性評価 (COVID-19 から学ぶ)
- (6) 米国毒性学会合同シンポジウム：毒性学における CRISPR の可能性
- (7) 実験動物としてのサルを考える - バイオ医薬品の種差とヒト予測 -
- (8) 薬剤性痙攣のリスク評価
- (9) 毒性オミクスにおけるエピジェネティクス情報を加えた人工知能解析
- (10) 遺伝子治療用製品の安全性評価と今後の展望
- (11) 感染症の予防と治療における生殖発生毒性
- (12) 化学物質の安全性評価にかかわる AI とインフォマティクス
- (13) ヒト ES 細胞/iPS 細胞を用いた毒性データベースによる毒性評価
- (14) 薬物誘発性の心機能変化に向けた in vivo 安全性評価戦略に関する新展開
- (15) 日本毒性病理学会合同シンポジウム：毒性病理学会からのトピック - 化学物質の安全性評価に向けた機序解明アプローチ -
- (16) 子供の毒性学：脳の発達を中心に
- (17) 世界における農薬の安全性評価の最新事情
- (18) 腎毒性を考える～臨床薬剤師、基礎研究の立場から～
- (19) 医薬品における Computational Toxicology の普及：Ontology 思考下でのシステム構築の事例報告
- (20) 日本癌学会合同シンポジウム：発がん性評価法の分子背景と展望 - エピゲノム、変異シグネチャーから見たヒト外挿考察 -
- (21) ACT/JSOT Joint Session：Nonvaccine Therapeutic Interventions for COVID-19
- (22) Xenobiotics 代謝と解毒の動物種差
- (23) 肺毒性の分子背景
- (24) 日本免疫毒性学会合同シンポジウム：多様な医薬品モダリティに対応する免疫毒性研究の最前線
- (25) 生体金属部会シンポジウム ～メタロチオネイン機能の新たな展開～
- (26) 事例報告 “非臨床で見られた毒性の臨床への予測性”
- (27) 再生医療等製品に関する毒性評価
- (28) 日本中毒学会合同シンポジウム：吸入剤による中毒の基礎と臨床
- (29) 次世代研究セミナー：マイクロバイオームと毒性学
- 6) ワークショップ (8 セッション)
- (1) GLP 業務の「New normal」の展望
- (2) 限定エクスポゾムの新たな展開
- (3) 2035 年の医薬品安全性評価 - 動物実験代替法を考える
- (4) 新毒性質問箱：医薬品開発者と PMDA で対話をはじめよう
- (5) 消化管毒性評価の新展開
- (6) トキシコロジストががんサバイバーからの抗がん剤治療報告
- (7) 癌薬物療法における薬剤性副作用のサイエンスと支持療法
- (8) トキシコロジストのキャリア形成支援プログラム - AI-Powered トキシコロジストを目指して -

## 7. 一般演題

- 1) 口演の発表時間は 8 分、討論 4 分の 12 分です。ポスター発表は、e-ポスターによる期限を決めた閲覧形式、質疑はメール等個々のやり取りとして行う予定です。  
詳細は年会ホームページをご覧ください。
- 2) 優秀研究発表賞応募演題  
応募者は e-ポスター発表に加え、現地もしくは Web 会議システムを利用したライブでの口頭発表 (4 分) と質疑応答 (2 分) を第 1 日目 (7 月 7 日 (水)) に行っていただきます。受賞者の発表は、第 2 日目 (7 月 8 日 (木)) 午後に行う予定です。授賞式は、第 3 日目 (7 月 9 日 (金)) の閉会式にて行います。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

3) 学生ポスター発表賞応募演題

審査はポスター発表内容のみで行います。(メールによる質疑を含む。) 受賞者の発表は、第2日目(7月8日(木))午後に行う予定です。授賞式は、第3日目(7月9日(金))の閉会式にて行います。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

日本動物実験代替法学会  
環境ホルモン学会(日本内分泌攪乱化学物質学会)  
比較眼科学会  
日本薬学会  
日本薬物動態学会

なお、今回上記2)、3)の応募者には、学術年会発表時のポスター原稿を、電子媒体として6月25日頃にご提出いただき、事前審査を行います(e-ポスターによる事前審査)。ご了承下さい。詳細は発表者へメールにてご案内いたします。

8. 参加登録および参加費

参加申込締切日:

2021年7月9日(金) 17時

1) 参加費

※学会会員の参加費は「不課税」、関連学会会員、非会員の参加費と懇親会費は「課税(消費税込)」となります。

※発表者(会員)の方で参加登録がお済みでない方は、お早目に参加登録をお願いいたします。

カテゴリー	参加登録
会員	16,000円
学生会員	5,000円
関連学会会員 <sup>*1</sup>	17,000円
非会員	19,000円

\* 1 次の学会会員の方です。(50音順)

共催: 日本中毒学会  
日本毒性病理学会  
日本免疫毒性学会  
日本薬理学会  
米国 SOT (Society of Toxicology)

協賛: 日本安全性薬理研究会  
日本医薬品情報学会  
日本衛生学会  
日本環境変異原ゲノム学会  
日本産業衛生学会  
日本実験動物学会  
日本獣医学会  
日本食品衛生学会  
日本食品化学学会  
日本先天異常学会

2) お支払い方法

- ・クレジットカード
- ※決済等の詳細については、年会ホームページをご確認下さい。
- ※年会参加費には、下記が含まれます。
  - ・領収証(参加費お支払い完了後にメニューページよりダウンロード可能になります)
  - ・参加証明証(会期後にメニューページよりダウンロード可能になる予定です)
  - ・年会プログラム要旨集(PDF)
- ※冊子体は希望者のみ配布いたします。

9. 懇親会

中止となりました。

10. 展示、ランチョンセミナーなどの募集

展示、ランチョンセミナー、広告掲載を募集します。詳細については年会ホームページをご覧ください。

11. 年会事務局

〒251-0012 神奈川県藤沢市村岡東二丁目26番地の1  
Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社  
事務局長: 大塚 博比古  
事務局次長: 吉田 唯真, 林 良太  
E-mail: secretariat@jsot2021.jp



## 第 47 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について

第 47 回日本毒性学会学術年会の要旨集を 1 部 3,500 円（税・送料込）で販売します。ご希望の方は郵便局に備付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、下記口座までお振り込み下さい。ご納入確認後、要旨集を発送致します。

なお、学術年会（第 32 回以降）の要旨はオンライン（J-STAGE）でも閲覧が可能です（<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/toxp/-char/ja>）。

振込先：口座番号	00150-9-426831
加入者名	一般社団法人日本毒性学会
要旨集価格	3,500 円（1 部）

通信欄記入事項：①住所 ②氏名（団体の場合は機関名・部署等）③電話番号  
④第 47 回学術年会要旨集希望の旨

※通信欄のご記入住所へ送本致します。詳細なご記入をお願い致します。

問い合わせ先：日本毒性学会事務局  
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1  
パレスサイドビル  
株式会社毎日学術フォーラム内  
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555  
E-mail：jsothq@jsot.jp



その他のお知らせ

株式会社LSIM安全科学研究所 試験責任者募集

職種名	非臨床試験の試験責任者
職務内容	一般毒性試験, 安全性薬理またはトキシコキネティクス (TK) 試験の試験責任者業務
募集人数	若干名
応募資格	①一般毒性試験 (ラット, マウス, イヌ, サル), ②安全性薬理コアバッテリー試験 (特に動物試験) または③ LC-MS(/MS) 法による TK 試験の経験者 経験年数は不問 試験責任者の経験を有する方を歓迎
勤務地	①茨城県神栖市又は熊本県宇土市, ②及び③茨城県神栖市
待遇	別途ご相談
応募方法	履歴書, 職務経歴書, 研究内容等を E-mail にて送付
応募締切	随時
連絡先	株式会社LSIM安全科学研究所 総務部 担当者: 星野 信人  〒 314-0255 茨城県神栖市砂山 14 番地 1 TEL : 0479-46-2871 FAX : 0479-46-2874 E-mail : hoshino.nobuhito@md.medience.co.jp
その他	

## 一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ ([http://www.jsot.jp/about/rule\\_list.html](http://www.jsot.jp/about/rule_list.html)) に掲載されています。

特に重要な改変があった場合は、毒性学ニュースで周知を図ることとします。

- 一般社団法人日本毒性学会 定款
- 一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程
- 一般社団法人日本毒性学会 入会規程
- 一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 佐藤哲男賞（国際貢献賞）選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会貢献賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 日化協 LRI 賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程
- J. Toxicol. Sci. 投稿規程
- Fundam. Toxicol. Sci. 投稿規程
- 一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針
- 一般社団法人日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針
- 一般社団法人日本毒性学会 部会に関する規程

# 新しい発見を 変わらない品質で

私たち日本クレアは、生命のあらゆる可能性を探求し発展させる基盤として、動物愛護のグローバルな視点に立った世界最高品質の実験動物を提供して参ります。



## マウス・ラット・マーモセット

### ● クローズドコロニー

マウス Jcl:ICR

ラット Jcl:SD, Jcl:Wistar  
Br/Han:WIST@Jcl(GALAS)

### ● 近交種

マウス C3H/HeNjcl, C3H/HeJjcl\*  
C57BL/6Njcl, C57BL/6Jjcl\*  
BALB/cAjcl, BALB/cByJjcl\*  
FVB/Njcl, DBA/2Jjcl\*, 129<sup>+Ter</sup>/Svjcl

ラット F344/Jcl

### ● ハイブリッド系

マウス B6C3F1/Jcl, B6D2F1/Jcl  
MCH(ICR)/Jcl (Multi Cross Hybrid)

### ● 疾患モデル

#### 免疫不全モデル

マウス BALB/cAjcl-*nu*  
C.B-17/ICr-*scid* Jcl  
NOD/Shijic-*scid* Jcl  
ALY<sup>®</sup>/NscJcl-*aly*

ラット F344/Njcl-*rnu*

#### 1型糖尿病モデル

マウス NOD/Shijcl

#### 2型糖尿病モデル

マウス KK/Tajcl, KK-A<sup>y</sup>/Tajcl  
BKS.Cg-*m*+/*Lepr<sup>db</sup>*/Jcl\*

ラット GK/Jcl, SDT/Jcl, SDT fatty/Jcl

#### アスコルビン酸合成能欠如モデル

ラット ODS/Shijcl-*od*

### ● 疾患モデル

#### 網膜変性疾患モデル

ラット RCS/Jcl-*rdy*

#### 関節リウマチモデル

マウス SKG/Jcl

#### 外用保湿剤・外用殺菌消毒薬効果検証モデル

マウス NOA/Jcl

### ● 遺伝子改変動物

#### 短期発ガン性試験モデル

マウス CByB6F1-Tg (HRAS)2Jic

#### 乳腺がん高感受性モデル

ラット Hras128/Jcl

#### 膵がん短期発がんモデル

ラット Kras301/Jcl

#### 生体恒常性維持機構解析モデル

マウス  $\alpha$ -Klotho KO/Jcl

マウス *klotho*/Jcl

#### アレルギーモデル

マウス OVA-IgE/Jcl (卵アレルギー)  
TNP-IgE/Jcl (化学物質アレルギー)

### ● Germ free

マウス MCH(ICR)/Jcl [Gf], C57BL/6Njcl [Gf]  
BALB/cAjcl [Gf]

### ● コモンマーモセット

Jcl:C.Marmoset(Jic) (国内生産)

## その他の取り扱い動物

### ● (公財) 実験動物中央研究所維持系統

### ● フェレット (輸入販売)

生産地：中華人民共和国/輸入販売代理店  
(株)野村事務所を通じて国内販売

## 実験動物用飼料

一般動物用飼料/家畜・家禽試験用飼料/放射線  
滅菌飼料/特殊配合飼料/成分分析

## 器具・器材

飼育ケージ/飼育機・ラック/自動飼育システム/  
クリーンエアシステム/バイオハザード対策システム  
/空調設備・排水処理システム/管理・実験機器/  
施設計画コンサルティング

## 受託業務

微生物学的クリーニング/遺伝子改変マウスの  
作製/モノクローナル抗体作製/受精卵採取・  
凍結処理/凍結受精卵の供給/系統維持及び生産  
/各種処置動物作出/マイクロバイオーム研究の  
サポート(無菌動物・ノトバイオームマウス作製および  
受託試験)/各種受託試験 他

## 関連業務

動物輸出入/微生物モニタリング/遺伝モニタリング  
/各種データ/情報サービス

## 業務提携

Physiogenex社(仏): 代謝性疾患領域に特化した薬効  
薬理試験受託サービス  
(株)ジーピーシー研究所: イメージングマウスの  
作製サービス

\* This substrain is at least (*a number*>20 by definition) generations removed from the originating JAX<sup>®</sup> Mice strain and has NOT been re-infused with pedigreed stock from The Jackson Laboratory.



www.CLEA-Japan.com

東京 A D 部 〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7 TEL.03-5704-7050(代)  
大阪 A D 部 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町6-5 TEL.06-4861-7101(代)  
【動物・飼料のご注文先: AD受注センター TEL.03-5704-7123】  
東京器材部 〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7 TEL.03-5704-7600(代)  
大阪器材部 〒564-9953 大阪府吹田市江の木町6-5 TEL.06-4861-7105(代)  
札幌出張所 〒063-0849 札幌市西区八軒九条西10-4-28 TEL.011-631-2725(代)  
仙台出張所 〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目30-24 TEL.022-352-4417(代)

## 医薬品開発をトータルにサポート

探索試験

前臨床試験

臨床試験

申請対応

### - High Quality -

高品質なデータの提供

### - Globalization -

グローバルな事業展開

### - Prompt Response -

迅速なサービスの提供

## 豊富な経験と充実した支援体制

- AAALAC International (国際実験動物ケア評価認証協会)

全施設で完全認証を継続



- FDA IND/NDA電子化申請対応 (CDISC SEND)

- 年間400試験を超えるバイオ医薬品の受託実績

- 最新機種を導入

- ① LSRFortessa X-20  
(BD Biosciences)



- ② NanoZoomer S360  
(Hamamatsu Photonics)



- ③ Triple TOF 6600 plus  
(AB SCIEX)



ケー・イー・シーでは医薬品の研究・開発にお使いいただける細胞・ヒト由来試料を取扱っております

研究用試薬

## ▶ HepaRG®・初代肝細胞

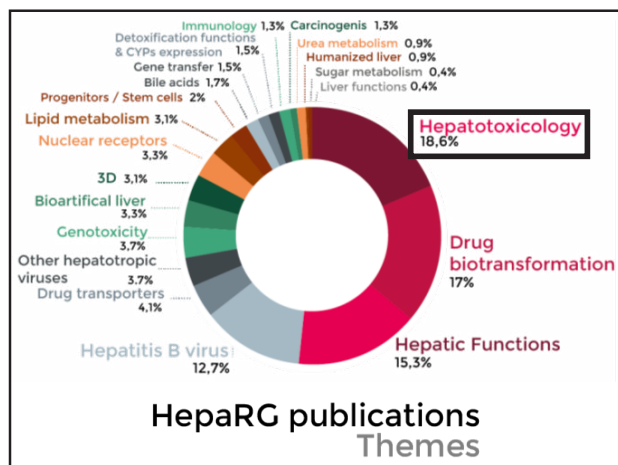
HepaRG®は、BIOPREDIC International社がライセンスを保有するヒト肝細胞セルラインです。肝細胞様形態を呈し、各種肝機能を保持・発現しており、ヒト初代肝細胞の代替ツールとして毒性試験および薬物動態などに広く利用されています。

【HepaRG®は様々な毒性評価に使用可能！】

- ①ミトコンドリア毒性の評価
- ②反応性代謝物による肝毒性評価
- ③炭水化物および脂質代謝評価
- ④胆汁うっ滞の評価

■ HepaRG®を使用した論文が多数発表されている中、毒性試験で多く使用されています！

また、弊社ではBIOPREDIC International社をはじめとして、様々なメーカーで調製された品質の良い初代肝細胞（ヒト、ラット、イヌ、サル等）もご用意しております。



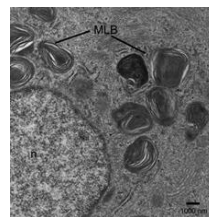
## ▶ ECACC標準株細胞・核酸製品

欧州最大の公的セルバンクであるECACCのセルリソース（標準株細胞・核酸製品）を、KAC独自のサービスとともに、面倒な手続きなし\*でお届けしています。

\*：一部の細胞は、提供にあたり確認審査が必要になります。

【メリット！】

- ①スタンダードな株細胞は国内に常時在庫
- ②プラス5,000円で、培養状態での提供可能
- ③幾つかの起眠が難しい細胞はKACが代行
- ④KACによる迅速な技術サポート体制



## ▶ 肝毒性・腎毒性評価の受託試験

薬物トランスポーター研究のパイオニアであるSOLVO Biotechnology社にて、肝毒性・腎毒性評価試験などのサービスの提供も行っております。

【試験例】

- ①代謝が遅い化合物の肝毒性評価（ヒト、サル、ラット、イヌ）  
（HepatoPac®：初代肝細胞と間質細胞のマイクロパターン共培養にて評価）
- ②早期腎障害バイオマーカーパネルを用いた腎毒性の可能性の評価 等





<https://www.saibou.jp/>

▶これらの製品情報を細胞.jpでお調べ頂けます



株式会社 ケーイーシー

<https://www.kacnet.co.jp/>

お問い合わせ先

試薬事業部

TEL:06-6435-9747 FAX:06-6435-9748

e-mail: shiyaku-info@kacnet.co.jp



# SLCの実験動物



## マウス

### ●アウトブリード

Slc: *cd1*

☆ RCS

Slc: ICR

### ●インブリード

DBA/1JmsSlc(コラーゲン薬物誘導関節炎)

BALB/cCrSlc

C57BL/6NcrSlc-C57BL/6JmsSlc

C3H/HeSlc

C3H/HeNSlc

DBA/2CrSlc

NZW/NSlc

A/JmsSlc

AKR/NSlc

NC/NgaSlc(薬物-アレルギー誘導アトピー性皮膚炎)

CBA/NSlc

129x1/SvJmsSlc

### ●B10コンジュニック

C57BL/10SnSlc

B10.A/SgSnSlc-B10.BR/SgSnSlc

B10.D2/SgSnSlc-B10.S/SgSlc

### ●ハイブリッド

B6D2F1/Slc(Slc:BD1)

CB6F1/Slc(Slc:CBF1)

CD2F1/Slc(Slc:CDF1)

B6C3F1/Slc(Slc:B6C3F1)

※上記以外の系統については御相談ください。

### ●ヌードマウス(ミュータント系)

BALB/cSlc-*nu*(*Foxn1<sup>nu</sup>*)

KSN/Slc(*Foxn1<sup>nu</sup>*)

### ●疾患モデル

BXSB/MpJmsSlc-*Yaa*(自己免疫疾患)

C3H/HeJmsSlc-*Jpr*(自己免疫疾患-*Fas<sup>gpr</sup>*)

C57BL/6JSlc-*gld*(自己免疫疾患-*Fas<sup>gld</sup>*)

C57BL/6JmsSlc-*Jpr*(自己免疫疾患-*Fas<sup>gpr</sup>*)

MRL/MpJmsSlc-*Jpr*(自己免疫疾患-*Fas<sup>gpr</sup>*)

NZB/NSlc(自己免疫疾患)

NZBWFI/Slc(自己免疫疾患)

WB6F1/Ki-*Ki<sup>gpr</sup>*/Slc(肥満細胞欠損鼠-*Ki<sup>gpr</sup>*)

WB6F1/Ki-*Ki<sup>gpr</sup>*/Slc(肥満細胞欠損鼠-*Ki<sup>gpr</sup>*)

WB6F1/Ki-*Ki<sup>gpr</sup>*/Slc(肥満細胞欠損鼠-*Ki<sup>gpr</sup>*)

NG/Nga(皮膚炎)

☆ Hos: HR-1(ヘアレスマウス)

☆ Hos: HRM-2(メラニン保有ヘアレスマウス)

★ SAMR1/TaSlc(非胸腺リンパ腫-SAM系対照動物)

★ SAMP1/SkuSlc(老化アミロイド症)

★ SAMP6/TaSlc(老年性骨粗鬆症)

★ SAMP8/TaSlc(学習・記憶障害)

★ SAMP10/TaSlc(脳萎縮を伴う学習・記憶障害)

AKITA/Slc(糖尿病)

☆ TSOD(2型糖尿病)

C57BL/6JHamSlc-*ob/ob*(肥満・2型糖尿病-*Lep<sup>ob</sup>*)

C57LKS/*Jlcr-+Lep<sup>ob</sup>*/+*Lep<sup>ob</sup>*(肥満・2型糖尿病-*Lep<sup>ob</sup>*)

☆ NSY/Hos(2型糖尿病)

C57BL/6JHamSlc-*A<sup>+</sup>*/+(肥満)

HIGA/NscSlc(1gA腎症)

C.KOR/StmSlc-*ApoE<sup>sh</sup>*(アポE欠損高脂血症-*ApoE<sup>sh</sup>*)

C.KOR/StmSlc-*Tra3ip2<sup>sh</sup>*(アトピー性皮膚炎マウス-*Tra3ip2<sup>sh</sup>*)

ラット

### ●アウトブリード

Slc: SD

Slc: Wistar

Slc: Wistar/ST

Hos: Doreyu

☆ lar: Wistar(Wistar-Imamichi)

☆ lar: Long-Evans

☆ lar: Copenhagen(前立腺癌罹患種)

### ●インブリード

F344/NSlc

WKAH/HkmSlc

BN/SSSlc

DA/Slc(薬物誘導性関節炎)

LEW/SSSlc(薬物誘導性関節炎)

### ●疾患モデル

★ SHR/Izm(高血圧)

★ SHRSP/Izm(脳卒中)

★ WKY/Izm(SHR/Izmのコントロール)

★ SHRSP/Dmcr(NASHモデル【HFC飼料給餌】)

★ SHR/NDmcr-*cp/cp*(肥満・糖尿・高血圧-*Lep<sup>ob</sup>*)

★ SHRSP/Ezo(AD/HD)

★ SHRSP/IDmcr-*fa/fa*(肥満・高血圧・脳血管障害-*Lep<sup>ob</sup>*)

DIS/EisSlc(食塩感受性高血圧症)

DIR/EisSlc(食塩抵抗性)

Slc: Zucker-*fa/fa*(肥満-*Lep<sup>ob</sup>*)

☆ Hos: ZFDM-*Lep<sup>ob</sup>*(糖尿・肥満)

HWY/Slc(ヘアレスラット)

☆ Hos: OLETF(2型糖尿病)

☆ Hos: LETO(OLETFのコントロール)

### ●モルモット

### ●アウトブリード

Slc: Hartley

### ウサギ

### ●アウトブリード

Slc: JW/CSK

Slc: NZW

## ハムスター

### ●アウトブリード

Slc: Syrian

### ●疾患モデル

J2N-k(心筋症モデル)

J2N-n(J2N-kのコントロール)

### スナネズミ

### ●インブリード

MON/Jms/GbsSlc

### 無菌動物(ラット)

### ●ラット

### ●インブリード

F344/NSlc(GF)

### エンヴィーゴ(旧ハランOEM生物動物)

### ●アウトブリードラット

RccHan®: WIST

### ●インブリードマウス

CBA/CaOlaHsd

### ●免疫不全モデルマウス

C.B-17/ICrHsd-*Prkdc<sup>scid</sup>*

### 遺伝子改変動物

### ●マウス

C57BL/6-Tg(CAG-EGFP)(グリーンマウス)

C57BL/6JmsSlc-Tg(*gpr delta*)

### ●ヌードマウス

C57BL/6-BALB/c-*nu/nu*-EGFP(EGFP全身発現ヌードマウス)

### ●ラット

SD-Tg(CAG-EGFP)(グリーンラット)

F344/NSlc-Tg(*gpr delta*)

Slc:WistarHanover/Rcc-Tg(*gpr delta*)

### その他(conventional動物)

### ●ビーグル犬

☆ 国内繁殖生産(一財)動物繁殖研究所

### ●カニクイザル

☆ カニクイザル(輸入)

### ●ミニブタ

☆ 国内繁殖生産(一財)日生研-NPO法人医用ミニブタ研究所

## ●マイクロミニビグ

☆ 国内繁殖生産(富士マイクラ(株))

### ●フェレット

自家繁殖生産(中伊豆支所)

★印は受託生産動物、☆印は仕入販売動物です。

## 受注生産動物

### マウス

### ●疾患モデル

C3H/HeJmsSlc-*cid*(自己免疫疾患動物-*Fas<sup>cid</sup>*)

C57BL/6 JHamSlc-*bg/bg*(NK細胞活性低下)

CTS/Shi(免疫不全・内臓)

(NZW×BXSb)F1/Slc(紫斑症)

### ラット

### ●インブリード

ACI/NSlc

### ●疾患モデル

Daf<sup>NS</sup>/Z-*Lep<sup>ob</sup>*/Slc

GK/Slc(2型糖尿病)

EHBR/EisSlc(高ビリルビン尿症)

PVG/SeaSlc

KDP1(型糖尿病-*CtHh*)

WBN/KobSlc(高血糖好発)

WBN/KobSlc-*fa/fa*(高血糖好発-*Lep<sup>ob</sup>*)

NAR/Slc(無アルブミン症)

NER(自発性造血・骨髄性白血病発症)

DA/Slc-*tg/tg*(NK細胞機能低下)

SDR(矮小体症ラット)

OM/NSlc(栄養摂取-腎障害)

FH/HamSlc(脳内ドパミン系の機能不全)

F344/NSlc-*Agcp<sup>sh</sup>*(大腸癌誘発)

Gunn/Slc-*iji*(高ビリルビン血症)

Slc: WsRc-*Ws<sup>Ws</sup>*(肥満細胞欠損鼠-*Kit<sup>sh</sup>*)

### モルモット

### ●アウトブリード

Hos: Weiser-Maples(メラニン保有)

### ●インブリード

Strain2/Slc

Strain13/Slc

### ウサギ

### ●アウトブリード

Slc: JWF-NIBS(ヘアレス)



日本エス エル シー株式会社  
〒431-1103 静岡県浜松市西区湖東町3371-8  
TEL(053)486-3178(代) FAX(053)486-3156  
<http://www.jslc.co.jp/>

営業専用  
TEL

関東エリア (053)486-3155(代)  
関西エリア (053)486-3157(代)  
九州エリア (0942)41-1656(代)

# 一般社団法人 日本毒性学会

## 【名誉会員】

今道 友則	堀口 俊一	福田 英臣	池田 正之
加藤 隆一	白須 泰彦	黒岩 幸雄	井村 伸正
佐藤 哲男	渡辺 民朗	高橋 道人	榎本 眞
小野寺 威	遠藤 仁	菅野 盛夫	黒川 雄二
鎌滝 哲也	赤堀 文昭	土井 邦雄	長尾 拓
福島 昭治	津田 修治	吉田 武美	堀井 郁夫
大野 泰雄	上野 光一	山添 康	

## 【功労会員】

高仲 正	前川 昭彦	佐藤 温重	安田 峯生
菊池 康基	大沢 基保	今井 清	降矢 強
玄番 宗一	唐木 英明	仮家 公夫	暮部 勝
野村 護	牧 栄二	三森 国敏	佐神 文郎
遠山 千春	小野寺博志	杉本 哲朗	西田 信之
中村 和市	永沼 章	姫野誠一郎	眞鍋 淳

## 【賛助会員】

(五十音順)

### ●ダイヤモンド

(株)新日本科学

### ●プラチナ

第一三共(株)

### ●ゴールド

旭化成ファーマ(株)

アステラス製薬(株)

EAファーマ(株)

エーザイ(株)

大塚製薬(株)

花王(株)

科研製薬(株)

協和キリン(株)

三栄源エフ・エフ・アイ(株)

(株)三和化学研究所

(株)資生堂

昭和電工(株)

(一財)生物科学安全研究所

千寿製薬(株)

大日本住友製薬(株)

武田薬品工業(株)

中外製薬(株)

(株)DIMS 医科学研究所

東レ(株)

日本香料工業会

ファイザー(株)

扶桑薬品工業(株)

Meiji Seika ファルマ(株)

(株)薬物安全性試験センター

Charles River

あすか製薬(株)

(株)安評センター

(株)イナリサーチ

(株)LSIM 安全科学研究所

小野薬品工業(株)

一般財団法人化学物質評価研究機構

杏林製薬(株)

興和(株)

サントリ- MONOZUKURI エキスパート(株)

塩野義製薬(株)

シミックファーマサイエンス(株)

住友化学(株)

ゼリア新薬工業(株)

大正製薬(株)

大鵬薬品工業(株)

田辺三菱製薬(株)

帝人ファーマ(株)

トーアエイヨー(株)

(一社)日本化学工業協会

日本新薬(株)

富士フィルム(株)

(株)ボゾリサーチセンター

持田製薬(株)

ライオン(株)

## 【役員】(2020～2021年度)

理事長	菅野 純		
理事	青木 豊彦	上原 孝	小野 敦
	鍛冶 利幸	北嶋 聡	熊谷 嘉人
	古武弥一郎	児玉 晃孝	小林 章男
	佐藤 雅彦	鈴木 睦	高橋 祐次
	角崎 英志	苗代 一郎	平林 容子
	藤原 泰之	宮脇 出	森 和彦
	吉成 浩一		
監事	天野 幸紀		
	務台 衛		

## 【学術年会長】

第48回 (2021年) 福井 英夫  
 第49回 (2022年) 石塚真由美  
 第50回 (2023年) 北嶋 聡

## 【委員会】(2020～2021年度)

●印：常置委員会 ◆印：小委員会

●総務委員会	委員長	高橋 祐次
◆連携小委員会	委員長	北嶋 聡
◆評議員選考小委員会	委員長	佐藤 雅彦
◆名誉会員および功労会員選考委員会	委員長	高橋 祐次
◆指針値検討小委員会	委員長	広瀬 明彦
◆企画戦略小委員会	委員長	宮脇 出

●財務委員会	委員長	青木 豊彦
	副委員長	森 和彦

●編集委員会	委員長	鍛冶 利幸
	副委員長	古武弥一郎
◆JTS 編集委員会	委員長	鍛冶 利幸
	副委員長	古武弥一郎
◆FTS 編集委員会	委員長	永沼 章
◆Executive Editor 小委員会	委員長	永沼 章
◆田邊賞選考小委員会	委員長	諫田 泰成

●教育委員会	委員長	鈴木 睦
◆生涯教育小委員会	委員長	鈴木 睦弘
◆基礎講習会小委員会	委員長	橋本 清弘
◆認定試験小委員会	委員長	福島 民雄
	アドバイザー	古川 賢

●学術広報委員会	委員長	児玉 晃孝
◆学会賞等選考小委員会	委員長	堀井 郁夫
◆佐藤哲男賞選考小委員会	委員長	熊谷 嘉人
◆特別賞等選考小委員会	委員長	熊谷 嘉人
◆技術賞選考小委員会	委員長	宮脇 出
◆日化協 LRI 賞選考小委員会	委員長	北嶋 聡
◆学術小委員会	委員長	石塚真由美
◆広報小委員会・HP 担当	委員長	児玉 晃孝

### ★その他関連の委員会

○IUTOX 担当	IUTOX Executive Committee, Director	熊谷 嘉人
	IUTOX Nominating Committee, Chair	菅野 純
○ASIATOX 担当	ASIATOX Council	小椋 康光
○日本学術会議担当	委員	石塚真由美

2021年6月1日 印刷

2021年6月1日 発行

発行人 菅野 純

編集人 鍛冶利幸

発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム

一般社団法人日本毒性学会事務局

TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555

E-mail : jsotq@jsot.jp

振替 00150-9-426831

<http://www.jsot.jp>

印刷所 株式会社仙台共同印刷

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2

TEL (022) 236-7161